

# 大阪府立茨木高等学校での「親学習」

平成 29 年 12 月 15 日 (金) 2 時間目 (9:30~10:20)

12月15日(金)に茨木高校の1年生を対象に、「親学習」が実施されました。講師は、茨木市の親学習サークル「親まなび☆きらりん広場」の方々でした。1年生の家庭科(「保育」に係る授業のまとめ)で親学習教材「わかちあう」を使った授業でした。茨木高校では、平成18年から家庭科の授業の中で「親学びの授業」を実施されていて、家庭科の先生のお話では、「この授業のねらいの中には『虐待防止』も含まれている」とのことでした。



## 【「親学習」の様子】

		
講師紹介と授業内容の説明の後、ワークショップでの4つの約束(参加、尊重、守秘、時間)について説明がありました。	親学習教材「わかちあう」を講師の方が読まれた後、生徒たちは感想を思い思いに付箋に書き込んでいました。	続いて自分の付箋を模造紙に貼り付けていきました。一人ひとり、「率直」な意見を書き込んでいました。
		
人間関係図をつくり、周りの人にどのような支援を頼みたいかを付箋に書き、貼り付けて整理しながら授業は進んでいきました。	他のグループの意見を見て回りました。同じような意見、違った意見、様々な意見を見ながら再びグループで考えました。	ワークショップの最後に、自分たちのグループでの意見を発表し、全体で交流しました。短い時間で端的に発表していました。

### 《グループ発表での意見》(一部抜粋)

- ・子育ては大変そう ・夫婦での協力が大切 ・夫婦二人ですべてをこなすのは難しい
- ・周りに頼れる人がいると助かる ・周囲の人の大切さを感じる ・助けを求めるのも大切
- ・これまで、子育てについて考えることがなかったので、子育てについて考えるいい機会になった

### 《授業を実施された家庭科担当教諭のお話》

★「授業の最後に、子育てに悩んだりした時には、身近なところに《子育ての支援機関》があることを紹介しています。これは、『(困った時に) SOSを出すことの大切さ』と『一人で抱えこまないようにする』ことを伝えたいと思ったからです。生徒の中には、『(困った時でも) 自分一人で何とかしよう』としてしまうケースも多いので、『人に頼ること』も大事な子育てだということを知ってほしい」とおっしゃっていました。